

ハンドボール日本代表・銘苅淳、ハンガリー1部リーグ「Mezőkövesdi KC」に移籍契約！

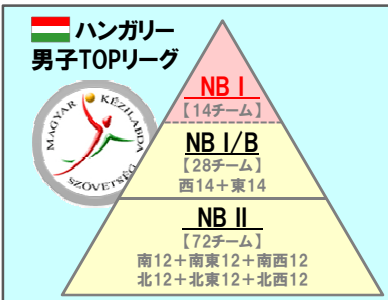
～アジア選手権・日本代表の活躍から、元ハンガリー代表監督より強化選手として招聘される～

株式会社スポーツゲイン(東京都港区・代表取締役:岩田一美)がマネジメントする、ハンドボーラー・銘苅淳(めかるあつし・30歳)は、2016-2017シーズンをハンガリーNB I部リーグ「Mezőkövesdi KC(メゾコベーチKC)」と、選手としての所属契約(現地時間:2016年2月1日付け)を締結した事を御報告致します。

銘苅淳は2012年からハンドボール強豪国であるハンガリーリーグに進出し、5チームを移籍経験し(今回6チーム目)、2014年度には日本人としては快挙となるNB I部・得点王となりました。その後、ハンガリーでの活躍が評価されて日本代表選手に選出され、2016年1月のアジア選手権では、1試合平均4点でチームに貢献し、ハンガリー仕込みの高いディフェンス力と7mスローの精度を披露しました。この活躍に、世界学生選手権の合同合宿で知り合った当チーム監督(元ハンガリー代表監督)からオファーを受けて、本契約に至りました。アジア選手権(バーレーン)が1月28日終了して30日に帰国、31日に出国して、2月1日からチームに合流してトレーニングを開始します。2015年度NB I最下位チームの順位向上にどれだけ貢献できるか、本年度の銘苅淳に御注目下さい。



監督:Skaliczki László



ハンガリーのハンドボール事情

ハンガリーではハンドボール競技が地域生活に根付き、子供から高齢者まで多くの人々が小規模な地方選にも観戦に集まり、地元地域チームを熱烈応援する程のハンドボール先進国で、サッカーよりも関心が高い。キッズ&ジュニアのクラブ体制が充実し、シニアもアマチュアからプロまで競技を楽しむ環境が行き届く社会。代表チームは、世界選手権・欧州選手権では常にBest8前後、2012ロンドン五輪4位の強豪国。

ハンガリーの国内リーグ事情

日本リーグ男子9チームに対して、ハンガリーリーグは3部構成(1部14、1B部28、2部72)で、計114チーム。人口1000万人弱のハンガリー国の各地にTOPを目指すチームが存在している状況。銘苅淳は2012年度よりハンガリー「NB I」部リーグに参戦し、2014年度(Balmazújváros所属時)には「NB I」部で日本人としては快挙の得点王を獲得。(ハンガリーハンドボール連盟=http://kezeszovetseg.hu/)



Mezőkövesdi KCについて

Mezőkövesdi KC(メゾコベーチ)は、ハンガリー北東のBorsod-Abaúj-Zemplén群・Mezőkövesd市を拠点とする1993年設立のクラブチームで、元ハンガリー代表監督が当チームに就任中。世界学生選手権の合同合宿時から銘苅淳に眼を付けていたというエピソードも。
 ・公式サイト=http://mezkovesdikc.hu/
 ・facebook=Mezőkövesdi-KC-152234194836207
 2015NB Iリーグ(14チーム)で最下位だったが、銘苅淳のアジア的なセンスを買われ、2016年度順位を向上させる。



銘苅淳について

1985年4月3日、沖縄県浦添市出身。中学時に野球部からハンドボール部に転向して全国大会3位に貢献、高校時にインターハイ3位、大学時にインカレ優勝2回、実業団時代(トヨタ車体)に全日本選手権優勝、日本リーグでは殊勲賞や7mスロー賞等を獲得。その後、怪我による出場機会減少を機に、視野を広げる為にハンドボールの本場・欧州に挑戦する事を決断。2012年よりハンガリーNB I部リーグに入団。Kecskemét→Ceglédi→Gyöngyös→Balmazújváros→Nyíregyháza→今回Mezőkövesdi KCに移籍し、2014年には日本人としては快挙となるリーグ得点王となる。日本人としては大柄(184cm・93kg)で常に大きな声の特長。出会う人全てを引き込む明るいキャラクターで松岡修造2世とも呼ばれ、3万人のキッズ人気を背負う熱血体育会系でありながら、緻密な戦略派。キャッチコピーは「ハンドボールで幸を種蒔く「歩くパワースポット」」。ハンドボールからハッピーを生むのが信条。

御問合せ



株式会社スポーツゲイン(www.sportsgain.jp)
 〒107-0052東京都港区赤坂4-2-8カランドリエビル4F / Tel:03-6426-5066
 (担当:岩田) Handy:090-3048-0426 / Mail:iwata@sportsgain.jp